

訪問歯科診療に常時持ち歩く器材

— 口腔ケア以外の対応も必要になった場合に備えて —

発表者 岡永 覚

岡永歯科/歯科・歯科医師(千葉県)

利益相反 (COI) 関係について

- 本発表に関して、利益相反 (COI) 関係にある企業および団体等はありません。
- その為、誤解を招かないように商品の写真および名称の掲載は、できるだけ避けています。



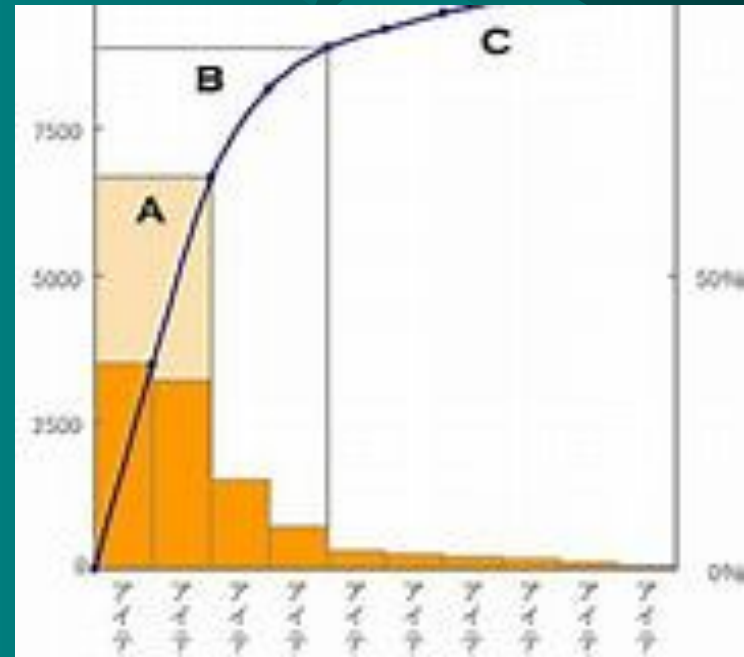
目的

- 口腔ケアのつもりで訪問歯科診療に行っても、それ以外の処置が必要になることが少なくない。
- そこで、「実際に訪問歯科診療に行ってみたら、事前の話と違う？」という経験から、一つのバックで携行できるセットを組んでみた次第である。



方法

- 口腔ケア以外に想定される処置をリストアップする。
- そのリストから前回の診療内容から予測できるものを除く。
- 残った処置のリストを実際にABC分析してリストを絞り込む。



結果①

- 口腔ケア以外に想定される処置としては、義歯関連がトップで、次いで齲蝕関連、歯周病関連等が続いた。
- 義歯関連では、調整、ティッシュコンディショニング、修理、裏装等の頻度が高かった。
- 齲蝕関連で充填は処置、サホライド等の頻度が高く、抜髄や感染根管処置は稀であった。
- クラウン・ブリッジ関連では、歯科補綴物等が脱離しているケースがあった。
- 歯周病関連は、口腔ケアの一環として行われることが多いので、投薬以外はリストから除外した。

結果②

- 以上を踏まえ、訪問歯科診療に必要な器材をABC分析してみた。
- その結果、義歯関連が圧倒的に頻度が高かった。それに次いで、齲蝕関連の頻度が高かった。



必要な器材のリスト(Aグループ)



- Aグループに分類された器材
 - 携帯用エンジンセット(バーを含む)
 - 義歯の内面適合検査材
 - 義歯の短期弾性裏装材

必要な器材のリスト(Bグループ)



- Bグループに分類された器材
 - 義歯の裏装材
 - 即時重合レジン
 - グラスアイオノマーセメント(含む裏層材)
 - サホライド
 - 合着用セメント

実際に必要な器材のリスト①

- 携帯用エンジンセット
義歯の調整の他、残根削合や根面版の形成も行うことがあるので、コントラも使えるタイプが便利である。
- 内面適合試験材
フィットチェッカーやデンフィット等があれば、便利である。
- 短期弾性裏装材
ティッシュコンディショナーを使っていたが、1週間後に硬化する裏装材に変えた(初期の段階では短期弾性裏装材として機能する)
- 裏装材
前述の裏装材の他、軟性裏装材も使っている。

実際に必要な器材のリスト②

- 即時重合レジン
ピンクと白(A3)が必要である。
- 薬剤
サホライドは、よく使う。
- セメント類
グラスアイオノマーセメントの他、合着用セメント、仮封材、覆髄材(水酸化カルシウム系)が必要である。
- その他
紙練板、ラバーボール、スパチュラ、バー、咬合紙等が必要である。

考察

- 以上のリストでは、不十分かもしれない。しかし、携行できる器材には限度がある。
- あくまでも、頻度の高い処置に対して、その場で対応するのがコンセプトである。それ以上を求めると、携行する器材が増えすぎる。

